

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03095 水道維持管理事業

所属長名 鈴木 貴博
担当者 徳田 晴美
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	061	水道維持管理事業		
事業期間	昭和34年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法、水道法施行規則、給水条例、給水条例施行規則、地方財政法			
備考	平成31年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。			

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	安全・安心な水道サービスを継続して受けることができます。
手段	水道施設の計画的な点検及び維持管理を行い、その機能を保持するとともに、水道料金を収納します。
事務内容	水道料金賦課事務、水道料金収納管理事務、水道開閉栓事務、量水器取替事業、配水管維持管理事業、浄配水場施設運転保守管理事業、浄配水場水質検査等事務、資金等調整管理事務、広報事業、消費税申告事務、貯蔵品管理事務、水道事業会計出資事務など

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	3,591,854	4,121,278	5,939,000
事業費	2,600,929	2,693,428	3,156,300
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,600,929	2,693,428	3,156,300
一般財源	0	0	0
人件費計	157,500	176,400	182,700
正規（人）	25.00	28.00	29.00
その他経費	833,425	1,251,450	2,600,000

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 1986件 ・料金滞納者訪問 1002件、料金未納者給水停止 241件、水道メーター一検針 388,983件	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 1772件 ・料金滞納者訪問 1152件、料金未納者給水停止 244件、水道メーター一検針 395,800件	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 ・料金滞納者訪問予定 1000件、料金未納者給水停止予定 240件、水道メーター一検針予定 403,900件

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03095 水道維持管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度		平成31年度		令和 2年度	
経常収支比率	%	112.62	119.85	112.62	116.91	112.62	0.00
料金回収率	%	104.84	116.05	104.84	112.60	104.84	0.00
自己保有水源率	%	30.00	28.10	25.90	28.20	25.90	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき行っており、市が行うべきサービスです			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道はライフラインであるため必要です			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	類似団体と比較しても健全な経営状態です。			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	設備事故なく、安定的に水道水を提供することができました			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体の水道事業も同様に行っています			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な維持管理、迅速な漏水対応が必要とされますので、規模に対応した直営対応、民間委託による体制を確立しています。今後も継続的に配水管の維持管理に取り組んでいくことが必要です。 浄配水場の安全性を維持するため、施設の点検を効果的かつタイムリーに実施しています。また、設備の保守管理は定期点検の結果を受け予防保全に取り組んでいくことが必要です。 滞納者に係る給水停止においては、訪問などの事前交渉を丁寧に取り組んでいくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和2年8月25日
19時16分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03096 水道建設改良事業

所属長名 鈴木 貴博
担当者 徳田 晴美
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	062	水道建設改良事業		
事業期間	昭和30年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	水道法、水道法施行細則、給水条例、水道施設等維持管理指導要領、大規模地震対策特別措置法 平成31年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。			
備考				

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	老朽管の布設替えや、水道施設の耐震化を行うことにより安定した水の供給を図ります。
手段	老朽管を耐震管に布設替えすることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。水道施設の耐震化を行い、地震に強く信頼性の高い整備に努めます。
事務内容	区画整理区域内配水管布設事業、地震防災施設緊急整備事業、水量不足地域配水管布設事業、給水装置設置等申請審査事業、専用水道事業、他事業に関連する配水管布設替事業、老朽管布設替事業 など

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	2,503,726	1,836,211	1,913,000
事業費	2,428,126	1,754,311	1,818,500
国庫支出金	50,000	27,000	65,100
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,378,126	1,727,311	1,753,400
一般財源	0	0	0
人件費計	75,600	81,900	94,500
正規（人）	12.00	13.00	15.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> 老朽管布設替工事 重要管路整備工事 区画整理地内配水管布設工事 水量不足配水管布設工事 他事業関連配水管布設替工事 配水支管延長工事 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽管布設替工事 重要管路整備工事 区画整理地内配水管布設工事 水量不足配水管布設工事 他事業関連配水管布設替工事 配水支管延長工事 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽管布設替工事 重要管路整備工事 区画整理地内配水管布設工事 水量不足配水管布設工事 他事業関連配水管布設替工事 配水支管延長工事

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2年 8月25日
19時16分03秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03096 水道建設改良事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
管路の耐震管率	%	33.00	34.20	35.40
		33.00	34.20	0.00
管路の更新率	%	1.00	1.00	1.00
		0.87	0.95	0.00
給水装置新設等申込書の審査件数	件	1,600.00	1,600.00	1,600.00
		1,690.00	1,655.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が行うべきサービスです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道はライフラインであるため必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	繰越工事もあることから目標値を下回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新水道ビジョンに基づき計画的に事業をすすめています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体の水道事業も同様に行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いライフラインにするため、水道施設の耐震化を行っています。 ・老朽管を耐震管に布設替えることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。 ・安全な水道水の供給を行うため、給水申込書の審査を行っています。 ・水の安定供給を図るため、計画的な施設及び管路の耐震化や更新を今後も取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。